

ONEライフスター株式会社
ほっとふあみりい／
ほっと+プラス^{※1}

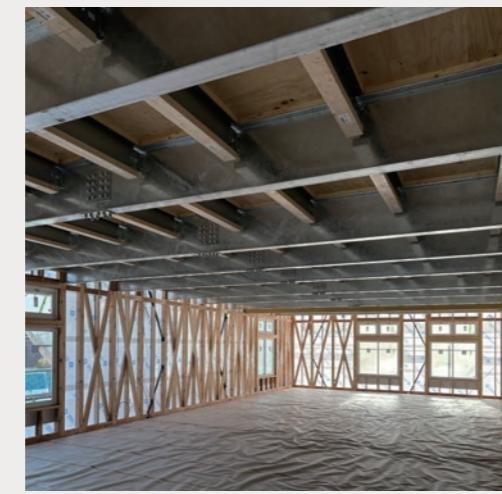
熊本県益城町に耐震工法で建設した
福祉避難所となる介護施設

2016年の熊本地震で、最大震度7を記録した熊本県益城町。「大きな揺れが2回もあった。デイサービスの建物に、地震の2日後ぐらいから車いすの方などが押し寄せるように来られたので、夜も職員を配置。『福祉避難所』になった」と震災前から益城町で介護サービス事業を手がけていたONEライフスター株式会社(当時は有限会社ほっとふあみりい)代表取締役の赤星淳子氏。益城町は熊本市のベッドタウンで空港や九州自動車道ICがある交通の要所だ。一方で、町内でも緑川水系の河川が流れる地域は、地震だけでなくたびたび水害にも見舞われている。この度、道路整備に伴い、町内に2つあった通所介護施設を水害の可能性が低い場所に統合し、テクノストラクチャー工法で、耐震性の高い建物を建設した。「3社にプレゼンしてもらったが、コストよりも“安心面”で、丁寧かつ専門的な説明があった松栄住宅株式会社さんにお願いするのが一番と、管理者会議で決めた」と施設幹部の園村千栄子氏。赤星氏は「柱のない広い空間を確保した2階建の施設。水害や崖崩れの心配がない場所に建つ耐震の建物だから、“いざ”という時は町のために一役買う」と語った。

※1 ほっとふあみりいはレスパイト型(※2)、ほっと+プラスはリハビリ特化型 短時間の通所介護事業所
※2「介護者の休息」を目的とした支援スタイル



所在地/熊本県上益城郡益城町大字宮園字一ノ迫
事業主/ONEライフスター株式会社
設計・施工/松栄住宅株式会社
竣工/2025年5月
規模/延床面積:約660m²
建築工法/テクノストラクチャー工法



木の梁に鉄を組み合わせ強度を高めた複合梁「テクノビーム」



地震の揺れを吸収する制震システム「テクノダンパー」
繰り返される揺れへの効力が期待できる



「テクノビーム」が可能にした車2台を並べられる間口約6mの車寄せ



車いすの利用にも配慮して広さが確保された小型エレベーター



2階の機能回復ルームもテクノストラクチャー工法により約16m×6mの広さを確保



LED照明でライトアップされた外観

主な納入設備

- 小型エレベーター
- 内装ドア「VERITIS」
- LED照明器具
- 「壁掛け熱交換気システム」



LED照明が明るく照らすデイサービスルームは、テクノストラクチャー工法により約19m×8mの広さを実現。
柱のない空間で要介護者を安心して見守れる他、車いすでの移動もスムーズになった